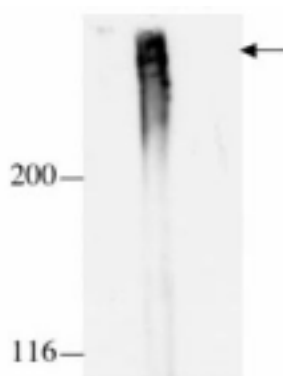


抗 ラット Cubilin ポリクローナル抗体

Cubilin は腎臓の近位尿細管上皮細胞において、Megalinと共に、エンドサイトーシス(細胞膜の動的変形による細胞外成分の吸収)に働きます。リガンドとしては、ビタミン B12-トランスコバラミン、ビタミン D 結合蛋白、アルブミン、アポリポ蛋白(apoA-)などがあります。腎不全では Cubilin 機能不全となることから、腎不全患者の病態に関与していると考えられています。

本抗体は、ラット Cubilin の部分ペプチドを免疫抗原として作製しました。腎臓における Cubilin の機能解明に有用です。

容量	25 μ g (100 μ L/vial)
形状	ウサギポリクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2%ブロッケーアス(安定化蛋白)、0.1%proclin 含有]
保管方法	-20℃以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は4℃で保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
製造方法	ラット Cubilin の部分ペプチドを免疫して得られたウサギの抗血清より、ペプチドアフィニティーカラムにて精製。
使用濃度	ウェスタンブロットティング: 2~5 μ g/mL



ウェスタンブロットティング

Sample : 各 200 μ g/lan

ラット心臓 lysate (Negative control)

ラット腎臓 lysate

ラット肝臓 lysate (Negative control)

提供:

新潟大学 大学院

医歯学総合研究科 機能分子医学講座

斎藤 亮彦 先生

同 内部環境医学講座

下条 文武 先生

抗 ラット Cubilin ポリクローナル抗体

【参考文献】

1. Christensen EI. et al. : Am J Physiol Renal Physiol. 2001 Apr;280(4):F562-73
2. Moestrup SK. et al. : J Biol Chem. 1998 Feb 27;273(9):5235-42
3. Aminoff M. et al. : Nat Genet. 1999 Mar;21(3):309-13
4. Lindblom A. et al. : J Biol Chem. 1999 Mar 5;274(10):6374-80

製造元

 株式会社トランスジェニック

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp